

## 土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準の改定について

国土交通省九州地方整備局(以下、九地整)の令和5年、令和6年の「土木工事共通仕様書」等の改定を踏まえ、北九州市の「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準(出来形管理、品質管理、写真管理)」の改定を行う。

### 1 改定方針

- 1)近年は、九地整が改定した箇所のみを改定していたが、今回、九地整(R6.3)や福岡県(R6.10)と全編比較を実施し、全編において改定の要否を検討する。
- 2)改定は、九地整を基本としつつ、市の運用及び工事特性(工事規模等)を考慮する。
- 3)契約条文番号及び誤字脱字を修正する。

### 2 主な改定点

#### 土木工事共通仕様書

##### (1)共通編

- 1)下水道の死亡事故を受けて、「安全衛生協議会の設置」の項目に労働安全衛生法第30条第2項に関する記載(統括安全衛生管理を講ずるべき者の指名)を追記。
- 2)「打設時のコンクリート温度」の項目において、打設時の温度の上限値を35度から38度へ変更。(北九州広域生コンクリート協同組合より38度までの範囲で35度を超えた場合でも品質低下が無いことを確認)

##### (2)土木工事共通編

- 1)「地質調査の電子成果品等」の項目として、工事において地質調査を実施した場合、調査結果を地盤データベースに登録する旨を追加。

##### (3)下水道編

- 1)「管路土留工」の項目にて、建込み式の簡易鋼矢板土留やアルミ矢板土留を施工する掘削深さを追記。
- 2)「鋳鉄管接合工」の項目を追記。

#### 土木工事施工管理基準

##### (1)出来形管理基準

- 1)「3次元計測技術を用いた出来高管理要領(案)」に新たに追記された工種(小型標識工など)において、本要領の規定による管理方法ができることを追記。

##### (2)品質管理基準

- 1)「プラント再生舗装工,舗設現場」の項目にて、再生アスファルトの混合物のアスファルト抽出試験、粒度分析試験を追加。
- 2)「路盤工,施工」の項目にて、現場密度試験の実施回数を九地整と同じに変更。

##### (3)写真管理基準

- 1)「3次元計測技術を用いた出来高管理要領(案)」による場合は撮影頻度を削減。

### 3 適用時期

適用日は、令和7年4月1日以降の新規契約から適用とする。(改定版をHPに公表)。